

九州大学EUセンター

ジャン・モネCoE九州・第二期 キックオフ・シンポジウム（ウェビナー）

ブレグジットとEU統合のゆくえ

英国が国民投票でEU離脱を決定してから約4年半が経過した2020年末をもって、同国はEUから最終的に離脱した。1958年のEEC(欧州経済共同体)創設以来、統合の「深化」と加盟国の「拡大」を遂げてきた欧州の統合が歴史上初めて経験する加盟国の離脱。それが欧州統合に対して持つ意味、EUや英国の経済や産業へのインパクト、日本の欧州ビジネスにとっての課題などについて、我が国のEU統合研究や欧州経済調査をリードする論者をお招きして多面的に検討を加える。

2021. 2.17 (水) 13:30-17:00
**オンライン開催 (Zoom)
要事前登録・無料**


参加を希望される方は上記QRコードもしくは九州大学EUセンターのホームページからお申込みください。

プログラム ※略歴は次ページをご覧ください。

- 13:30 オープニングセレモニー** ※一部英語
挨拶
河野 俊行 (九州大学理事・副学長)
フィリップ ドゥ・タクシ・デュ・ポエット (駐日欧州連合代表部公使参事官、日欧産業協力センター専務理事)
- 13:50 ジャンモネ・シンポジウム**
- 13:50 開会挨拶
岩田 健治 (九州大学EUセンター長、九州大学大学院経済学研究院長)
- 14:00 講演「ブレグジット後の英EU関係と欧州統合のゆくえ」
庄司 克宏 (慶應義塾大学大学院法務研究科教授、ジャン・モネEU研究センター所長)
- 14:40 講演「ブレグジット後の英国、EU経済－それぞれの進路」
伊藤 さゆり (株式会社ニッセイ基礎研究所 経済研究部 研究理事)
- 15:10 Q&Aセッション
モデレーター 岩田 健治、八谷 まち子 (九州大学EUセンター・アドバイザー)
- 15:30 (休憩)
- 15:50 ジャンモネ・セミナー**
- 司会 岩田 健治 (九州大学EUセンター長)
- 15:50 講演「ブレグジット後の欧州ビジネス環境の変化」
田中 晋 (独立行政法人日本貿易振興機構 (JETRO) 海外調査部欧州ロシアCIS課 課長)
- 16:30 質疑応答
- 16:45 閉会挨拶 <17:00終了>
八谷 まち子 (九州大学EUセンター・アドバイザー)

[主催] 九州大学EUセンター (ジャン・モネCoE九州)
[後援] 駐日欧州連合代表部、日欧産業協力センター、福岡EU協会、九州EU研究会、九州大学アジア・オセアニア研究教育機構 文化変動クラスター、九州大学SHAREオフィス、九州大学ストックホルムリエゾンオフィス

九州大学EUセンター
ジャン・モネCoE九州・第二期 キックオフ・シンポジウム (ウェビナー)
ブレグジットとEU統合のゆくえ

講師、モデレーター



庄司 克宏

慶應義塾大学大学院法務研究科教授、ジャン・モネEU研究センター所長

慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程単位取得満期退学。

二松学舎大学国際政経学部助教授、在ベルギー日本国大使館専門調査員、ケンブリッジ大学客員研究員、欧州大学院大学(フレンツェ)客員研究員、横浜国立大学大学院国際社会科学部教授等を経て、現在、慶應義塾大学大学院法務研究科教授。

日本EU学会理事(2006-2009理事長)、日EU将来関係有識者委員会委員(外務省、2009-2010)、ジャン・モネ・チェア(Jean Monnet Chair *ad personam*)、ジャン・モネEU研究センター所長(慶應義塾大学)も務める。専門:欧州連合(EU)の法と政策



伊藤 さゆり

(株)ニッセイ基礎研究所 経済研究部 研究理事

1987年早稲田大学政治経済学部卒業後、日本興業銀行(現・みずほ銀行)を経て、2001年、ニッセイ基礎研究所に入社。2019年7月から現職。修士(商学・早稲田大学)。2015年度より早稲田大学大学院商学研究科非常勤講師兼務。主な著書に「沈まぬユーロ」(文真堂、共著)、「英国のEU離脱とEUの未来」(日本評論社、2018年、共著)、「EU分裂と世界経済危機」(NHK出版新書、2016年、単著)など。



田中 晋

(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)海外調査部欧州ロシアCIS課 課長

1987~89年経済協力開発機構(OECD)日本政府代表部(在パリ)勤務。1990年日本貿易振興会(現・日本貿易振興機構)入会。パリ事務所(フランス調査担当など)および2度のブリュッセル事務所(EU調査担当次長)勤務を経て、2016年10月より現職。著書は「欧州経済の基礎知識」(編著)など。



八谷 まち子

九州大学EUセンターアドバイザー

1986年から1993年まで、駐日欧州委員会(EC)日本代表部(現、駐日欧州連合(EU)日本代表部)勤務、1995年東京大学大学院 法学政治学研究科 専修課程修了(修士)、1998年九州大学大学院 法学研究科博士課程後期単位取得、1998年より九州大学法学研究科勤務、2011年より「EUIJ九州」代表、2015年9月に退職(教授)、2016年より九州大学EUセンター(ジャン・モネCoE九州)アドバイザー。専門は、EU/トルコ関係、EUの政策決定過程。



岩田 健治

九州大学EUセンター長、
九州大学大学院経済学研究院長

1960年生まれ。東北大学文学部卒業。同経済学研究科博士課程単位取得退学。博士(経済学)。2015年より九州大学EUセンター長。

2019年より九州大学大学院経済学研究院長。前日本EU学会理事長。専門はEU統合、国際金融。著書『現代ヨーロッパ経済第5版』(共著、有斐閣、2018年)他。

セレモニー〈挨拶〉



河野 俊行

九州大学理事・副学長

九州大学法学研究院主幹教授。2020年10月より九州大学理事・副学長(国際及び法務担当)。専門は国際私法、国際文化財保護法。国際イコモス名誉会長。比較法国際アカデミー正会員。

ブータンの文化遺産法の法整備支援を手がけ、文化財の違法取引を防止するための法規制の問題にも取り組んでいる。2011年、国際イコモス執行委員に選出され、2014年~2017年は国際イコモス副会長、2017年~2020年12月は日本人初、同会長を務めた。2019年6月、ライマール・リュスト賞(アレクサンダー・フォン・フンボルト財団)受賞。



フィリップ ドゥ・タクシ・デュ・ポエット
(Philippe de Taxis du Poët)

駐日欧州連合代表部公使参事官、
日欧産業協力センター専務理事

生命工学博士。日本(電子機器)、カナダ(製紙)、イタリア(製薬)で研究開発部長として10年活動後、1992年より欧州委員会勤務。イノベーション、産業、欧州の経済外交と欧州企業の国際化などを担当。駐日欧州連合代表部(2005-2009)、駐印欧州連合代表部(2009-2013)で科学・イノベーション・デジタル政策部長。2018年4月より日欧産業協力センターのEU側事務局長と欧州連合代表部の公使参事官。

九州大学EUセンター「ジャン・モネCoE九州・第二期 事業開始のお知らせ」

九州大学EUセンターは、2011年4月から5年間、欧州委員会(European Commission)からの資金援助を得たコンソーシアムの代表校としてEUインスティテュート・イン・ジャパン九州(EUIJ九州)を運営し、EUに関する教育・研究のさらなる向上を目指してまいりました。その後、2016年9月には、EUの教育助成金プログラム(エラスムス・プラス)の日本で2拠点目となる「Jean Monnet Centre of Excellence(ジャン・モネCoE)」を獲得し、「ジャン・モネCoE九州」(プロジェクト名: Jean Monnet Centre of Excellence-Kyushu (JMCoE-Q))事業として、3年間にわたりEU研究を世界に向けて発信して参りました。

この度、再びEUの教育助成金プログラム(エラスムス・プラス)を獲得し、「ジャン・モネCoE九州・第二期」(プロジェクト名: Jean Monnet Centre of Excellence-Kyushu, Second Stage (JMCoE-Q2))事業を開始しました。2020年11月17日~2023年11月16日までの3年間にわたり、教育、研究、アウトリーチ、学術交流などの事業を行い、EU研究・教育の一層の深化・発展を通じて九州大学のグローバル化に貢献します。



With the support of the
Erasmus+ Programme
of the European Union